

コントロールページの説明書

1. Control インターフェイス



デバイスの XY 座標位置情報は、現在の原点は、デバイス電源がオンのときのデフォルトは座標原点(X0、Y0)ですので、デバイスの電源を入れた後にリセット(Hard Home)操作を必ず行ってください。



デバイスの移動方向は、X 軸、Y 軸、Z 軸、およびデバイスのファームウェアで定義されたそれらの方向に対応します。（注:この説明書を編集したときのコントロールページは現在一般的なファームウェアであり、Z 軸コンポーネントがないモデルがある場合はこの機能は使用できません。将来的には、対応するファームウェアは特定のモデルに応じて構成され、デバイスのコントロールページにそのような機能がない場合、Z 軸はありません）。



移動時の速度（Speed）と距離（Distance）を調整するために使用されます。



Laser/Spindle : [OFF] がオフになり、[5%~100%] が対応するパワーでレーザーを ON にします。



Soft Home :レーザーヘッドは、ソフトウェアで設定された原点に戻ります。

Hard Home : レーザーヘッドは固定されたデバイスの原点に戻ります。

Position XY : レーザーヘッドの座標原点(つまり、上記のSoftHome によって返されるソフトウェアの原点)を手動で設定します。

Position Z : Z 軸の座標原点を手動で設定します(一部のデバイスは Z 軸なしでは使用できません)。

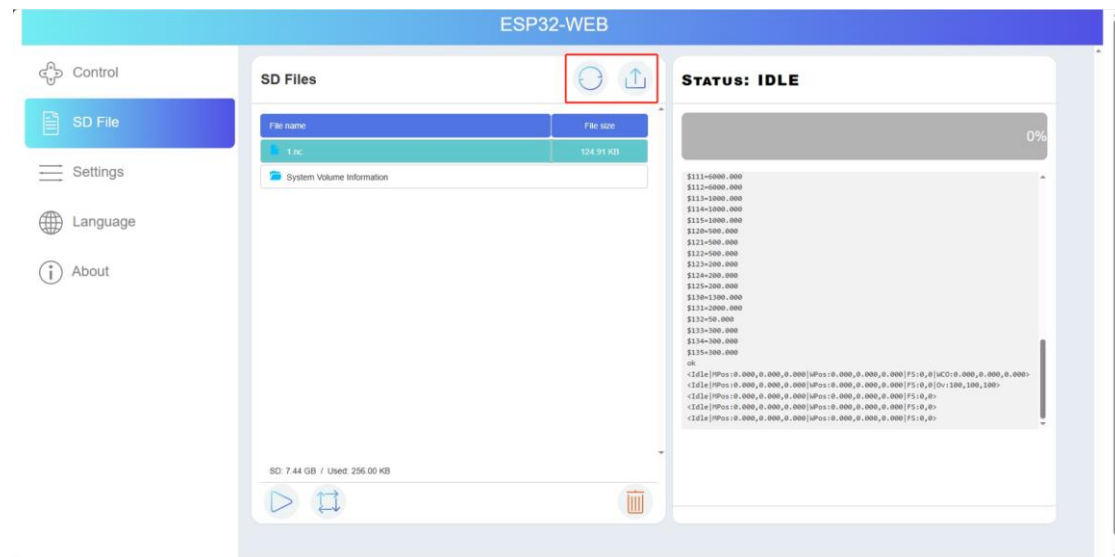
Unlock : 機能コンポーネントは保持され、この時点では機能はありません。





データログウィンドウとデバッグコマンド送信バー:左側のページにあるデバイスに対するすべての操作(さまざまなタイプのエラーアラームを含む)がデータログウィンドウに表示されます。以下のデバッグコマンド送信バーは、デバイスのデバッグ時に特別な指示を送信するために使用され、ユーザーは通常それを使用する必要は

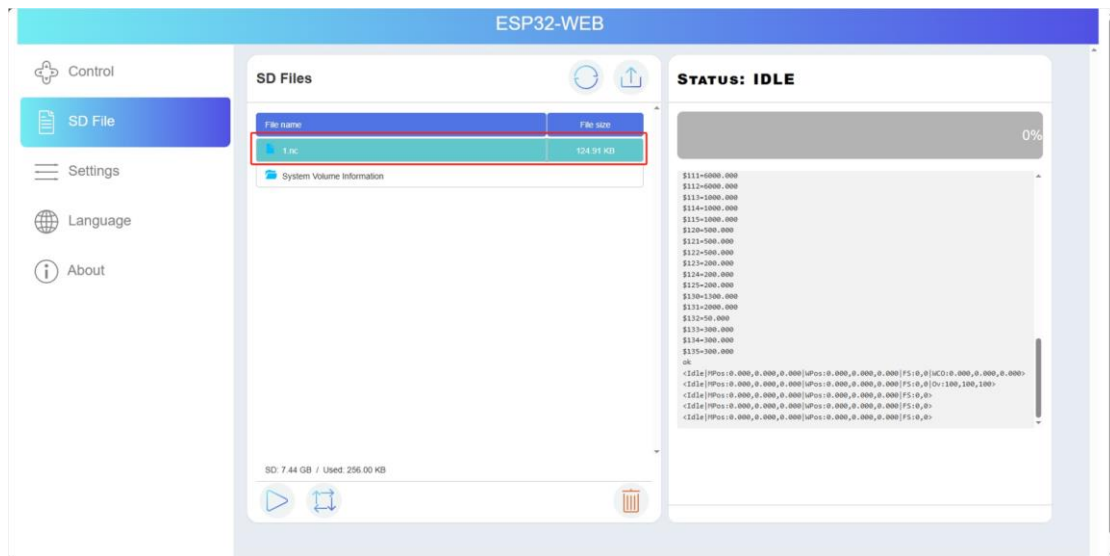
ありません。

2.SD File インターフェイス

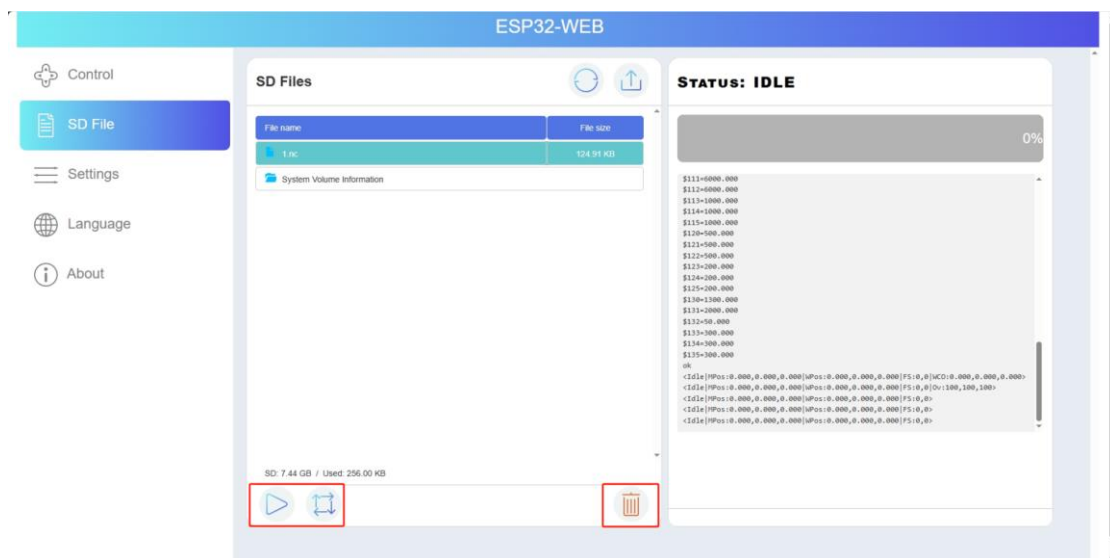



SD File : 内部を表示するには、TF メモリカードをマシンに挿入する必要があります。


左側には更新ボタン 、右側にはアップロードボタン  があります。



写真はアップロードされたファイルを示しており、彫刻する場合は、最初に彫刻するファイルをクリックする必要があります。

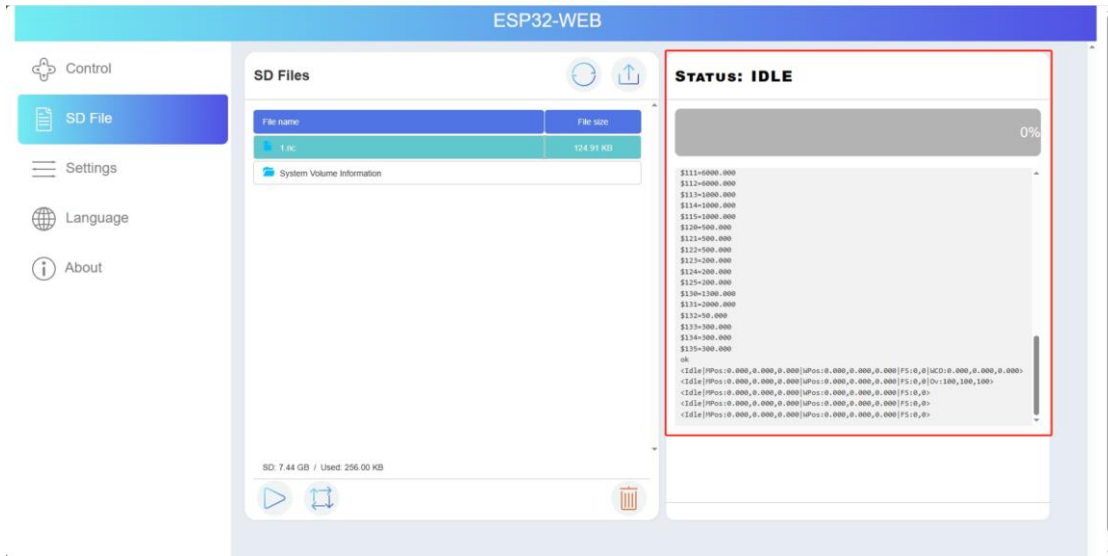


 : 「彫刻開始」ボタンで、彫刻前の準備作業後にのみ開始できます。

 : 「境界線プレビュー」ボタンで、彫刻を開始する前に、彫刻された境界線が幅から外れているかどうか、または位置が正しいかどうかをプレビューする必要があります。



:「削除」ボタンで、不要な彫刻ファイルをクリックすることで削除できます。



「Control」画面のデータログウィンドウと同じで、デバイスの現在のステータスと彫刻の進行状況が表示されます。

3. その他のインターフェース



「Settings」はファームウェアのパラメータ設定インターフェースであり、ユーザーは自分でパラメータを調整しないでください。デバイスの操作に問題を引き起こします。誤ってパラメータを変更してしまい、復元できない場合は、公式 Web サイトで対応するデバイスのファームウェアをダウンロードして、マザーボードに書き直す必要があります。

公式ウェブサイトのファームウェアダウンロードアドレス：
tyvok.com/pages/software



「Language」はコントロールページ上の言語設定であり、現在は英語と中国語でのみ利用可能です。

「About」は、コントロールページ上のファームウェア バージョン情報を示します。